

平成24年10月10日（水）

雷別ドングリ倶楽部第3回活動

10月10日（水）、標茶町雷別地区国有林の自然再生事業地で雷別ドングリ倶楽部会員11名が参加して、今年度3回目の活動を行いました。今回の活動は①広葉樹の種子の採取と広葉樹の播種、②広葉樹の植樹を行いました。

広葉樹のタネの採取では、先月行った「森林アクティビティ講座」でミズナラの木の下に仕掛けたシードトラップからミズナラのタネ（ドングリ）を採取しましたが、ドングリの生育が思わしくなく充分熟したものが少ないため、周辺のイタヤカエデのタネも一緒に採取しました。採取したタネは、初めての試みで、マルチキャビティコンテナに直接タネの蒔き付けを行いました。

広葉樹苗の植付けでは、今春から行っている「生態学的混播・混植法」を用いてミズナラ、ハルニシ、ヤチダモ、イタヤカエデ、シラカンバの植付けを行い第3回目の活動を終了しました。



ミズナラの種子の回収



コンテナに播種



地拵と植樹